

## 研究成果及び活動一覧 (1994.1.1~12.31)〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など  
 B：学会での口頭発表その他の活動  
 C：講演、論説など  
 D：学術的調査

## 井川健司

- A. 1 「『速水流茶道初心聞書』人」(翻刻紹介)、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第2号、3.25  
 2 「利休以降のわび茶—七事式成立前後—」『青梅会報』第5号、3.25  
 B. 1 全国大学国語国文学会会誌『文学・語学』編集委員会委員長(6月~)  
 C. 1 青梅キャンパス公開講座「利休以降のわび茶」、6.4

## 磯貝芳郎

- A. 1 「OL、サラリーマンの行動学」、『朝日新聞』2月~7月(原則として)隔週連載  
 B. 1 相談研究所『教育相談研究』(季刊)第76、77、78、79号編集委員  
 C. 1 「がまんの心理学について」、建設省新任者研修会、4.13  
 2 「職場のコミュニケーション」、通産省係長研修会、7.15、8.5、9.9、12.16  
 3 「豊かな人間関係を育むために」、青梅総合病院、10.19  
 4 「ストレスと心の仕組み」、本学青梅キャンパス公開講座、11.5  
 5 「若者の意識と行動について」、人事院関東事務局研修会、11.15

## 井上英明

- A. 1 「『竹取物語』主題考」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第2号、pp.1-10、3.25  
 2 「『国土』にひそむ神話」(小堀桂一郎編『東亜の思想闘争』)、中央公論社、pp.259-279、4.30  
 3 「『国語科教育法概論』(共著) 明星大学出版部、290ps、5.30  
 4 「イソップ物語の日本人的受容—ウサギとカメの場合—」、『部報めいせい』、12.20  
 B. 1 全国大学国語国文学会事務局長(年間)  
 C. 1 「『源氏物語』「紅葉賀」について」、東京都立大学都民カレッジ、4.10  
 2 「民族性と文学」、亜細亜大学公開講座、6.10  
 D. 1 長崎県立図書館、福岡県立図書館—末松謙澄の事蹟調査—6.10~13

## 氏家洋子

- A. 1 共編著『現代語の研究』、角川書店、306ps、3.5  
 2 'Cultural Linguistic Study of Japanese Folded Way of Expression—Interactions of speech, mind and society—' 『明星大学研究紀要』(日本文化学 72 (51))

部・言語文化学科) 第2号、pp.109-122、3.25

- B. 1 'Language Use, and Consciousness Fostered by Society—Discriminatory consciousness and words in Japanese society—', 7 th Conference of European Association for Japanese Studies, Copenhagen, Denmark, 8.23
- C. 1 「クロスカルチャー時代の日本語—人・ことば、社会の新しい関係を求めて—」、明星大学青梅キャンパス第5回公開講座、10.22

#### 岡田恒雄

- A. 1 「『コーカサスの白墨の輪』雑感」、劇団俳優座機関紙『コメディアン』第504号、p.2、劇団俳優座、4.1
- 2 書評：「中司淳子著『最後の舞台はベルリンで』」、『会報 西洋比較演劇研究会』第12号、p.28、西洋比較演劇研究会、5.25
- 3 「1993年エディンバラ国際フェスティバル演劇部門ドイツ演劇特集を見て—イギリスにおける J. M. R.レンツの戯曲の評価の兆しを中心に—」、『世界文学』第79号、pp.60-66、世界文学会、7.15
- 4 書評：「サン・キョン・リー (李相景) 著『東西演劇の出会い—能・歌舞伎の西洋演劇への影響—』」、『会報 西洋比較演劇研究会』第13号、p.29、西洋比較演劇研究会、10.26

#### 小河織衣

- A. 1 「マルセルの思想 (II) 身体性・現象学的方法—メルロー・ポンティとの関連において」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科) 第2号、pp.15-22、3.25
- B. 1 シンポジウム『横浜とフランス』(日本仏学史学会) のパネリストとして、フォーラム横浜、5.28
- 2 「神戸におけるフランス・カトリック」、日本仏学史学会、渋谷勤労福祉会館、7.23
- C. 1 「フランスの美術」、社会人教育センター講演会、川崎市宮前市民会館、11.18
- D. 1 『第一回小河織衣絵画展』、サエグサ画廊、10.11~16

#### 加藤めぐみ

- A. 1 共著：『世界・日本キリスト教文学事典』、オーストラリア・ニュージーランド作家の項を分担執筆、教文館、3月
- 2 論文：「「わたし」の中の「わたしたち」：アボリジナル女性作家の自伝」、『南半球評論』第10号、6月
- 3 書評：「ナマジラの伝統：中央オーストラリアの水彩画家たち—The Heritage of Namatjira : Tte Watercolourists of Central Australia」、『南半球評論』第9号、6月

- アジア・太平洋国家となれるか』において、「文化面にみるオーストラリアのアジア・太平洋国家化」について発表。6.11
- 2 オーストラリア・ニュージーランド文学会運営、年間
- D. 1 豪日交流基金研究奨励金により、文化多元主義とオーストラリアの文化・社会についての現地資料調査。7.19～30

### 河野石根

- A. 1 「文体研究の焦点」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第2号、3.2
- B. 1 「無釉陶器の美」、日韓交流芸術研究事業、広島

### 古田島洋介

- A. 1 翻訳（共訳）：毛毛〔著〕『我が父・鄧小平』I・II、〔訳者代表〕長堀祐造、担当：第I巻第26—29章／pp.242-287、徳間書店、2.28
- 2 「赤い糸の伝説（続）」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第2号、pp.33-40、3.25
- 3 「滅びゆく漢文教育—再生への提言」、小堀桂一郎〔編〕叢書「比較文学比較文化」第4巻『東西の思想闘争』、pp.379-402、中央公論社、4.30
- 4 随筆：「<すでにして>考」、東大比較文学会『比較文学研究』第65号、pp.185-186、7.20
- 5 執筆協力：『朝日／日本歴史人物事典』（16項目）、朝日新聞社、10.22
- 6 「朝鮮通信使の序文—申維翰と『芝軒吟稿』」、大澤吉博〔編〕叢書「比較文学比較文化」第6巻『テキストの発見』、pp.375-386、中央公論社、10.28
- B. 1 「明治九年の修信使—日本の新聞の反応」、学術セミナー「19世紀の儒教と近代化」、成均館大学（ソウル）、3.12
- 2 「赤縄故事在日本」、環太平洋文化与文学交流国際学術研究会、天津師範大学・南戴河培训中心（中国）、7.28
- 3 翻訳・通訳：「面向二十一世紀—東亜的主張」、第21回中日教師研究会、小堀桂一郎氏の基調講演「二十一世紀を迎えて—東アジアからの発言」を翻訳・通訳、台南文化中心（台湾）、12.27

### 小堀桂一郎

- A. 1 『鏡の詞・劍の詩』展転社、400ps、3.14
- 2 「天道攷・(5)」東京大学紀要『比較文化研究』32輯、pp.1～112、3.30
- 3 『東西の思想闘争』中央公論社、498ps、4.30
- 4 「「小鳥の唄」の發祥」東大比較文学会『比較文学研究』65、pp.3～22、7.20
- 5 「神道とキリスト教」神道文化會『神道文化』第六号、pp.35～60、11.1
- その他
- B. 1 「新しいファウスト像の形成」日本ゲーテ協會平成六年度總會、OAG、5.13

- 2 「日本の精神傳統」 國民文化研究會青年學生合宿、熊本、8.8
  - 3 「日本の思想的苦難」 日本を憂える知識人の會、厚生年金會館、9.12
  - 4 「東京裁判資料の刊行について」 東京教育懇話會、學士會館、10.18
  - 5 「廿一世紀を迎えて東アジアからの發言」 日華交流教育會議、台南市、12.27
- その他
- C.
- 1 「保守の真髓」 産經新聞社 『正論』 一月号
  - 2 「昭和天皇の御遺訓」 全 二月号
  - 3 「細川「侵略戦争」發言」 全 五月号
  - 4 「五十年の後に」 全 八月号
  - 5 「歴史の事実と解釈・再論」 全 十一月号
- その他

#### 佐佐木茂美

- A.
- 1 L'Emeraude d'Iseut et le Jaspe de Tristan, in *Romania*, Paris, tome 111 (1994 pour 1990)
  - 2 Philippe Ménard, Illustration du *Devisemenr du monde* de Marco Polo, 『明星大学研究紀要』(日本文学部・言語文化学科) 第2号、解説および註
- B.
- 1 Mélanges offerts au Professeur Teruo SATO, T. II, Kenkyusha (dépot : Fransu Tosho), Comité de Publication, 紹介『ふらんす』、白水社、5月号
  - 2 追悼・佐藤輝夫先生、『ふらんす』、白水社、6月号
  - 3 追悼の中世フランス文学者・比較文学者、佐藤輝夫先生『青梅会報』、9月号
  - 4 追悼の佐藤輝夫先生、『早稲田学報』、7・8合併号
- D.
- 1 Bibliothèque Nationale および Archives Nationales, Bibliothèque Mazarine で初期刊行本に関する調査(8~9月)

#### 島田良二

- A.
- 1 「富樫広蔭著『古今集紀氏直伝解』について」、『明星大学紀要』(日本文学部・言語文化学科) 第2号、3.25
  - 2 「古今集とその前後」一研究現状と展望、『和歌文学論集』2 (平成6年10月刊)(風間書房)
- B.
- 1 『和歌文学論集』(風間書房刊) 編集委員
  - 2 「中古文学会」委員
  - 3 「全国大学国語国文学会」事務局担当
  - 4 千葉市文化振興財団理事
- C.
- 1 「源氏物語」講座(朝日カルチャ、20回)
  - 2 「源氏物語」講読(千葉そごう友の会、20回)
  - 3 「源氏物語」の世界(東武友の会、10回)
  - 4 百人一首について(千葉市民大学講座、平成6年8月30日)

## 正慶孝

- A. 1 書評：「高橋亀吉・森垣淑〔著〕『昭和金融恐慌史』」、『グローバル・ビジネス』 9月15日号、p.80  
 2 同上：「竹内弘高〔著〕『ベスト・プラクティス革命』」、『グローバル・ビジネス』 11月1日号、p.80  
 3 同上：「ケント・E・カルダー〔著〕谷口智彦〔訳〕『戦略的資本主義』」、『グローバル・ビジネス』 11月15日号、p.80  
 4 同上：「P. クルークマン〔著〕北村ほか〔訳〕『脱「国境」の経済学』」、『グローバル・ビジネス』 12月1日号、p.80  
 5 同上：「ラビ・バトラ〔著〕藤原ほか〔訳〕『世界大恐慌』」、『グローバル・ビジネス』 12月15日号、p.80  
 6 企画編集：「講談社版ビジネス戦略戦術講座」第9版、1.1～12.31
- B. 1 「第32回実践経営学会」司会、東京国際大学、10.29～30  
 2 「第七回梁瀬真セミナー」、コーディネイター、私学会館、11.1
- C. 1 講演：「東と西」、アジア問題研究会、国立教育会館、1.12  
 2 講演：「低迷する日本経済と国際環境」、都城市および小林市、1.17～18  
 3 テレビ出演：「NTV関口宏トークショー」、3.14  
 4 論説：「外信記号の日本語記事を分かりやすく」、『週刊現代』 6月18日号、p.58  
 5 新聞談話：「2歳児のカラオケで大げんか」、『読売新聞』 11月29日付  
 6 同上：「恥の文化崩壊の兆し」、『東京新聞』 12月25日付  
 7 論説：「21世紀へ向けて」、『月刊テーミス』 毎月号連載  
 8 同上：「立体読書術」、『エグゼクティブ』 5月号まで連載

## 須藤美奈子

- C. 1 「児童文学の楽しみ—発生より19世紀へ」、都立大学・都民カレッジ一丸の内校舎、1月～3月（8回）

## 高柳俊男

- A. 1 書評：石坂浩一著『近代日本の社会主義と朝鮮』（社会評論社）、『季刊青丘』 第19号、2.15  
 2 「東京にある近代日朝関係の史跡について」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科） 第2号、3.25  
 3 書評：兵庫朝鮮関係研究会編著『在日朝鮮人90年の軌跡』（神戸学生・青年センター出版部）、『ひょうご部落解放』 第58号、7.10
- B. 1 「帰国事業研究序説」、在日朝鮮人運動史研究会例会、2.27
- C. 1 東京都水元青年の家主催「アジアネットワーク・フォーラム」水先案内人、1.16  
 2 関東キリスト教学校人権教育研究協議会「東京の街を歩いて『人権』を考える」現地講師、5.14  
 3 練馬区春日町青少年館、講座「アンニョンハセヨ！韓国・朝鮮」講師、5.23、

5.30

- 4 東京都水元青年の家主催「フィールド・ワーク朝鮮 in 東京」水先案内人、10.8、11.6、12.17
- 5 「杉並かいわい歩いて知る朝鮮」フィールド・ワーク講師、11.3

#### 田中敏

- C. 1 「日本文化の底を流れるもの」、ウルム大学、7.12
- 2 「全上」、ミュンヘン日独協会、7.15
- 3 「全上」、アウグスブルク大学、7.18
- 4 「全上」、バート・ゼッキンゲン日独協会、7.20

#### 万恵洲

- A. 1 「中国人対恭維的特殊文化心理」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第2号、3.25
- 2 「中国之礼的語言与文化透視」第四届国際漢語教学討論会論文集、北京語語言学院出版社、1994年4月
- C. 1 「中西文化差異」外務省研修所、中国語學員、3.22～6.7
- 2 「中国人的礼俗文化」中国語研修学校、中国語專業会話班、4月～12月

#### 秀村研二

- A. 1 「キリスト教の中のシャーマニズム」『韓国文化』177号、pp.8-12
- 2 書評「崔吉城著『恨の人類学』、『すばる』16巻12号、p.424、集英社
- B. 1 「教会と祈禱院—韓国キリスト教の諸相—」東北大学文学部宗教学会、2.14
- 2 「韓国のキリスト教と社会—教会と信者からみた特徴—」国際日本文化研究センター共同研究会、7.27
- 3 「1980年代中期の漁村社会—自らを両班といわない人々—」国立民族学博物館共同研究会、12.27
- D. 1 韓国キリスト教と社会変化の研究および漁村社会の社会変化の研究、大韓民国ソウル市・高陽市・慶尚北道迎日郡清河面における実態調査、8.16～9.12

#### 丸山正義

- A. 1 「プルーストと音楽—序」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第2号、3.25
- 2 翻訳：アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ「グスタフ・マーラー」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第2号、3.25

#### 三木友里

- C. 1 「日中交流の問題点について」中国科学技術委員会講演会、1.24
- 2 「易学と現代人生活」(財)日中文化交流財団公開講演、10.14

- 3 「明天的中国」(明日の中国) 財団中日文化交流財団公開講演、11.14  
 D. 1 日中密教交流の歴史的背景について、中国「瑞應寺」において実地調査、1.20～23

#### 矢野浩三郎

- A. 1 翻訳『草の根』スチュアート・ウッズ(作)、文藝春秋、550ps、2.15  
 2 翻訳「しでむしの唄」オーガスト・ダーレス(作)(短篇)、『幻獣の遺産』、北宋社、p.107、2.10  
 3 翻訳『大統領がランチにやってくる』No.I・ライアンス(作)、角川文庫、544ps、3.25  
 4 翻訳『ミステリーゾーン4』リチャード・マレスン他(短篇集)、文春文庫、393ps、8.10  
 5 書評「小尾俊人著『本が生まれるまで』その他」、「1994年単行本・文庫本ベスト3」リテラール別冊メタログ、p.126、12.1  
 C. 1 講演「作家と著作権の問題」CWS特別講座、9.20

#### 山下善明

- B. 1 「生命科学の現代的境位」、科学技術庁・異分野研究者交流フォーラム、ベイホテル東急、3.1  
 2 「人の技術は天の技術」、金沢工大・“場”の研究会、上智大学東洋宗教研究所、5.7  
 3 「道一出会いの場所」、東京寸心会、国立婦人教育会館、6.26  
 4 上智哲学会会誌『哲学論集』第20号編集委員  
 C. 1 「バルツィ教授の講演『権威と自由』」、『青梅会報』第四号、3.20  
 D. 1 ドイツ語にみる哲学的言語の分析、上智大学アルムブルスター研究室、アドルノ研究会、年間

#### 和田正美

- A. 1 「中村光夫のボヴァリスム—その小林秀雄論を中心にして」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科)第2号、pp.11-23、3.25  
 2 「戊辰のこと—江戸開城の精神」、小堀桂一郎編『東西の思想闘争』(叢書比較文学比較文化第4巻)、中央公論社、pp.281-308、4.30  
 3 「狐の業と女の性と—『蘆屋通満大内鑑』を中心にして」、東大比較文学會編『比較文学研究』第65号、恒文社、pp.65-74、7.20  
 4 書評：「西尾幹二著『立ちすくむ日本』」、『正論』10月号、pp.287-288、産経新聞社、10.1  
 D. 1 旧植民地における日本語文献について；中華民国台北市国立中央図書館において資料調査、8.18～8.20

#### 訃報

本学日本文化学部・松本兼太郎教授(英語学)が、去る平成6年11月13日に逝去されました。ここに御通知申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表します。